

# 異業種12社の魅力満載

## 「ミライ企業図鑑」沖縄版発行

### 学生と企業つなぐ教材

地域の中小企業と若者をつなげる活動を展開する「ミライ企業プロジェクト」(本部・大阪府)の沖縄事務局がこのほど、キャリア教育の授業で使う教材「ミライ企業図鑑」の沖縄版を初めて発行した。ホテルや飲食、自動車販売など幅広い職種12社が魅力を紹介します。社員インタビューや授業に参加した学生の声、社長のコメントを取り上げられ、「働く」ことを考える内容。1日から県内のコンビニで販売され、県内大学の授業に活用される。

図鑑はA4判22頁。参加企業Rコードが載せられ、代表者の社員が学生時代に会社選びで考えていたことや仕事をすることで感じたことなどを写真とインタビューで紹介。大学の授業に参加した大学生からは「就活に悩む私にとって感銘を受ける機会となった」「魅力ある地域企業を知ることができた」などのコメントが寄せられた。企業12社の



沖縄版「ミライ企業図鑑」をPRするヤブサチ代表の大城直輝さん(中央)と、プロジェクト沖縄事務局の上間祥吾さん(左)、小野間昌和さん(右)=南城市玉城・Cafeやぶさち

**ことば** ミライ企業プロジェクト 若者と中小企業が共にプラットフォームをつくるプロジェクト。教育や就職の課題に取り組む有志が2013年に関西を中心に発足させた。学生と企業をつなぐ教材「ミライ企業図鑑」を使う授業には19年度、関西地区や沖縄県などの25大学で約3400人が参加した。学生に向けて経営者と共に学ぶ交流会や企業訪問ツアー、社員に向けては働き方を話し合う交流の場などを設けている。

参加する企業が前年度の倍の12社となったため沖縄版が発行された。世話人を務めるヤブサチ代表の大城直輝さん(45)は「県内の企業が多く紹介されることで、大学生に働くことを身近に感じてもらう」と意義を語る。

参加企業の社員のスキルアップやPRにも役立つという。大城さんは「幅広い業種の企業から学ぶことは多い。交流を通して社員のモチベーションアップや安心して働ける環境づくりにつなげた」と意義を語る。

御菓子御殿、添石総合会計事務所、ヤブサチ、琉球カンパニー、琉球補聴器、大平シール印刷、兼城自動車整備工業種の企業から学ぶことは多い。交流を通して社員のモチベーションアップや安心して働ける環境づくりにつなげた

「い」と話した。参加企業を20〜30社に広げる目標があり、学生のキャリア教育の選択肢をさらに増やしたいという。

販売は県内のコンビニ(ファミリーマートとローソン)で、1冊500円(税別)。問い合わせは沖縄事務局、電話0998(800)2712。プロジェクト参加12企業は次の通り。

御菓子御殿、添石総合会計事務所、ヤブサチ、琉球カンパニー、琉球補聴器、大平シール印刷、兼城自動車整備工業種の企業から学ぶことは多い。交流を通して社員のモチベーションアップや安心して働ける環境づくりにつなげた

### 企業とオンラインで 経営者ら授業学び配信

新型コロナウイルスの感染拡大で入社試験の延期や採用人数の抑制が懸念されることを受け、ミライ企業プロジェクト沖縄事務局は学生の不安を少しでも解消しようと、学生と中小企業をオンラインでつなぐ新たな取り組みを5月中旬にも始める。県内や関西地区の参加企業の経営者を講師にオンラインで授業するほか、学生にメッセージや学びを提供するリレー動画の配信を予定する。

沖縄事務局は初の沖縄版ミライ企業図鑑を発行したが、授業で使うのは大学の授業はまだ再開していない。対面せずに中小企業と若者をつなぐ新たなコンテンツを早期に取り入れることで就活生を支援したいという。大学と学生、企業事務局が連携して準備を進める。

沖縄事務局代表コーディネーターの上間祥吾さんは「1社だけでなく、業界や企業の垣根を越えて若者の不安を解消

したい。コロナショックをきっかけに企業も若者も成長しているような取り組みを指している」と話す。

前回は「一人とのつながり」も得られたがソーシャルゲーム(略称:ソグ)です。「つながり」にはの意味があり、一つはゲーム内連やチームをつくること。もう一つは会員制交流サイト(SNS)を通じて仲間の募集告知やゲームの中断をすることを指します。

ゲームの実況中継とは、自分1人状況を動画撮影し、インターネット上で配信すること。動画を人たちが、「強いプレイヤーだ」「ワザが紹介されていた」としてSで交流するため、何重ものつながりが生まれる仕組みです。

## 「テレビの学校」で学ぼう

### 放送局と自治体 学習支援番組始める

新型コロナウイルスの感染拡大で多くの小中学校が休校となる中、自治体とテレビ局が協力し、子どもたちの学習を支援する番組を企画、放送する取り組みが始まっている。インターネット上で見られる番組もあり、担当者は「テレビの学校」を家庭での学びに役立ててほしい」と活用を期待している。

15日から東京MXテレビで放送が始まったのは、小学生向けの支援番組「TOKYO おはようスクール」。休校中でも、子どもが学習の習慣を身につけ、生活のリズムを整えられるようにと、東京都教育委員会が企画と構成をした。

特に1年生が学校という場所のイメージを持てるようにと、都内の学校施設で撮影。都教委の指導主事らが先生役になって「数の数え方」といった算数や国語の学習コーナーのほか、体を動かす時間も設けた。

放送は「朝の会」の時間帯を想定した午前8時半からの30分間と、「帰りの会」を想定した午後2時56分からの2分間で、5月6日までの月一金曜日放送。同社の無料動画配信サービスでも同時配信する。

熊本市は、20日から「くまもつとまなびたいム」を県

## 琉大にマスク3千枚



沖華産業の朱蘇建代表(右)からマスクを受け取る琉球大学の福治友英理事=4月22日(同大提供)

内民放4局とNHKで放送する。学習指導要領に示された学習内容のうち、未指導となっている部分を支援するほか、美術館などの文化施設が休館となっていることも踏まえ、美術鑑賞についての情報発信も行う予定だ。

放送局と時間帯は学生ごとに異なり、24日までの毎日と27、28日の計7日間放送する。熊本市は既に、タブレット端末などを活用したオンライン学習も実施。担当者は、テレビ番組の活用について「一つの確実な学習形態になる」と説明しており、学びの継続を図りたい考えだ。

### 沖華産業の朱代表が寄付

沖繩から世界へLED照明、太陽光パネルを販売している沖華産業(那覇市)の朱蘇建代表は4月22日、西原町の琉球大学を訪れ、サージカルマスク3千枚を母校に寄付した。

朱代表は「弊社は中国と沖繩の懸け橋となる思いで起業した。沖繩は日本の中でもマスクの供給体制が弱いところ

インターネットを通じた授業でも対面授業での印刷配布などと同様に、著作権者の許可なく著作物を使用できる制度が4月28日、始まった。新型コロナウイルスの感染拡大で遠隔授業を行う動きが広がっており、来年4月としていた当初の開始予定を前倒した。

学校教育法の「専修学校」の認可を得ている予備校や塾なども対象。オンラインで教科書の一部を映したり、教材をネットで送受信したりできる。一方で大学でもサークル活動やオープンキャンパスでの模擬授業は除外した。

制度は2018年の著作権法改正で新設された。本来は補償金を支払う必要があるが、20年度に限り無償とした。ただ制度の管理団体は教育委員会や学校法人に、事前か利用開始後、速やかに届け出るよう求めている。

## 議論の場に子ども不在

小中高や大学が対象

インターネットを通じた授業でも対面授業での印刷配布などと同様に、著作権者の許可なく著作物を使用できる制度が4月28日、始まった。新型コロナウイルスの感染拡大で遠隔授業を行う動きが広がっており、来年4月としていた当初の開始予定を前倒した。

学校教育法の「専修学校」の認可を得ている予備校や塾なども対象。オンラインで教科書の一部を映したり、教材をネットで送受信したりできる。一方で大学でもサークル活動やオープンキャンパスでの模擬授業は除外した。

# 教育

毎週日曜に掲載

意見・問い合わせは

TEL 0998(860)3552 FAX 0998(851)5300

スマホ世代の子どもたち

大人の知らない最新事情

たんぽぽのタネ